

がん集団検診 申し込み受付中

対象 結核、肺・胃・子宮頸・乳・大腸がん集団検診の受診券をお持ちの方
申込 LINE申請または電話



受診券(ID・パスワード入り)の発行を希望する方

がん集団検診の受診券の発行を希望する方は、申し込みが必要です。
申込 結核、肺がん…9月18日(金)(必着)まで、胃・子宮頸・乳・大腸がん…11月30日(月)(必着)までに、LINE申請または窓口またははがきに検診名、住所、氏名(連名不可)、生年月日、電話番号を明記し郵送
〈共通〉 申込 〆 270-1132湖北台1の12の16健康づくり支援課(保健センター) ☎04-7185-1126

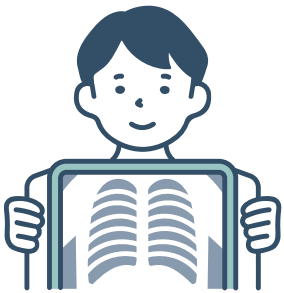
9月24日～30日は「結核・呼吸器感染症予防週間」

結核を予防・早期発見しましょう

結核は結核菌によって主に肺に炎症が起きる病気で、最初は風邪に似た症状から始まります。痰がからむせき・微熱・体のだるさが2週間以上続いている、体重が減ってきた、食欲がないなどの症状が続く場合は、早めに医療機関(呼吸器内科)を受診しましょう。

健康的な生活が免疫力を高め、結核の予防につながります。また、早期発見のため、健康診断(胸部レントゲン検査)を毎年受けましょう。

申込 千葉県松戸保健所(健康福祉センター) ☎047-361-2139



10月 各種無料相談・検査 千葉県松戸保健所(健康福祉センター)

相談・検査内容		日時	申し込み・問い合わせ
思春期相談	電話	(月)～(金)9時～17時※(祝)を除く	☎047-361-2138
	来所		
精神保健福祉相談	来所	8日(木)14時～16時 19日(月)13時～15時	
酒害相談	来所	15日(木)14時～16時30分	☎047-361-2139 ※申し込みは検査日の属する週の(月)9時～(祝)の場合は翌平日)
HIV、梅毒、クラミジア、淋菌、B型・C型肝炎検査	来所	8日(木)受付13時30分～14時 22日(木)受付13時30分～14時、17時40分～18時	
DV相談	電話	(月)～(金)9時～16時※(祝)を除く	☎047-361-6651
	来所		

◎我孫子連絡所(保健センター3階)※一部の申請書類の配布・預かりのみ
日時 (月)～(金)9時～11時30分、12時15分～15時30分※(祝)を除く
申込 千葉県松戸保健所(健康福祉センター) ☎047-361-2121

ジャパン・マンモグラフィー・サンデー

日本乳がんピンクリボン運動の取り組みの一つです。マンモグラフィー検査は女性技師、超音波検査は乳腺外科専門医が行います。

日時	検査内容	定員(要申込)	費用
10月18日(日) 9時～12時、 13時～17時	①マンモグラフィー(2方向)	先着28人	5,500円
	②超音波	先着18人	3,850円

※①②同時検査の場合は8,500円で受診可
※①は市の乳がん検診として、市が設定する自己負担額で受診可
場所・申込 我孫子聖仁会病院 ☎04-7181-2265 (月)～(土)14時～17時※(祝)を除く



▲公式HP

文芸だより

俳句

綿あめのごとく湧き出す沼の霧

【評】春は霞と言われたものが、秋には霧と言われます。柔らかく甘い綿あめのように霧が湧き出て沼を覆う。幻想的な光景です。

相川 健選 (投稿数24句)

矢部 重夫

短歌

朝霧の底に沈みて静かなり大正浪漫を知れる手賀沼

【評】朝霧に沈む静かな手賀沼。だが手賀沼は、個性の尊重や人道主義・理想主義を掲げた人々の大正ロマンの当時の実態を知っているのだとの感慨から生まれた歌。

豊島 秀範選 (投稿数16首)

矢部 重夫

朱の上におはぐろトンボの菓子器持つ寡黙な父の姿顕ちくる

梅澤 光子

ビニールの傘ならび行く交差点隠したき表情すべてさらして

新藤 道子

何もない文机の上を這ひゆける虫あり五分の魂もちて

佐藤 文江

日傘さし男が闊歩江戸の街

尾張 幹

ほれ食えと甥のさし出す樽の茄子

室山 まき子

棚経に唱和すること蟬の声

齋藤 昭義

投稿方法 毎月20日(必着)までに、①LINE投稿②はがきに作品(1人1作)、住所、氏名、年齢を明記。〒270-1192市役所秘書広報課 広報室(住所省略可)※作品は選者により添削する場合があります。※「青少年の部」(18歳以下)も募集しています。

まち活ライターの

「あびこ」みっけ 第27回

申込 市民活動ステーション ☎04-7165-4370

わが家で始まる、小さな国際交流「あびこホストファミリーの会」

海外から訪れる高校生や若者を家庭に迎え入れ、日本の日常とともに過ごす国際交流を続ける市民団体です。現在は我孫子市や近隣地域を中心に約20のホストファミリーが参加し、それぞれの家庭のペースで受け入れています。

特別な語学力やおもてなしは必要なく、一緒に食卓を囲み、普段通りの暮らしを楽しむことが何よりの魅力です。大人も子どもも異文化に触れ、世界へ視野を広げるきっかけになるほか、一度迎えたゲストと家族のような交流が長く続くこともあります。自宅から始まる小さな国際交流。興味のある方はぜひ「あびこホストファミリーの会」をのぞいてみてください。

まち活ライター 寺田さおり

図書館員が選ぶこの一冊 No.100

文藝春秋出版 『望郷』

湊 かなえ / 著

東京で妻と息子と暮らす洋平のもとに、故郷・白綱島の同級生から一通のはがきが届く。それをきっかけに、小学6年生の秋、父が失踪し母と貧しく暮らしていた頃を回想する。当時、何かと親切にしてくれたおっさんがいたが、彼の目的はどうやら母親のようで…。

白綱島は架空の島。島ならではの閉塞感漂う中、登場人物の故郷に対する愛憎入り混じった思いや、その後の人生への影響を織り交ぜて進む物語は「望郷」へとつながっている。第65回日本推理作家協会賞を受賞した「海の星」のほか、5つの短編が紡がれる。

消費生活センターだより 165回

太陽光発電システムの点検商法に注意

事例 業者が突然訪問してきて「太陽光パネルの点検が法律で義務化されたので無料で点検する」と言われお願いした。「パネルによる火災事故が増えている」「長期使用するためには洗浄とコーティングが必要」と言われるがまま、30万円の契約をしてしまった。

太陽光発電システムの点検商法に関する相談が、昨年度の2倍に増えています。

対処法…○「点検が義務化された」などと言われても安易に契約しない ○まずは点検の要否を確認する。分からない場合は、設置事業者に相談する ○契約する場合は、その場で契約せずに、複数社から見積もりを取る

相談受付 消費生活センター(アビイクオーレ2階<イトーヨーカドー我孫子南口店>) ☎04-7185-0999 (月)～(金)10時～17時30分)